

佐田岬しあわせプロジェクトによる町づくり型観光による雇用促進（伊方町）

【取組概要】

佐田岬オリジナルの“観光まちづくり産業”をつくりあげ、全国に発信すると共に、住民の“しあわせ”に寄与する。平成26年度からの3年で事業基盤づくりを行う。

＜平成26年度実施事業＞

日本一細長い半島として有名な佐田岬半島の魅力を広く全国にPRするため、町の観光交流拠点施設「佐田岬はなはな」の整備や亀ヶ池温泉に簡易宿泊施設の設置。また従来の観光型や一般的な体験型の旅行商品からさらに発展した社会貢献型の旅行である、ソーシャルツアーの実施。佐田岬を訪れた、サイクリストや観光客を迎え入れる「佐田岬旅オアシス」の設置等。

○訪れた人だけでなく、そこに住む人もしあわせになれる「町づくり型観光」を導入し雇用促進や生きがい創出に繋げる。

人口 10,402 人

担当部署 伊方町産業振興課

事業実施期間 平成26年度～平成28年度

取組事例のURL



観光交流拠点施設「佐田岬はなはな」

【取組のポイント(特徴・先進性・特色など)】 【今後の構想や、他団体との連携の可能性】

佐田岬の自然、生活、文化、歴史、産業、人材などの地域資源を活用して“佐田岬に暮らす人”“佐田岬を訪れる人”の両方がしあわせになれる、新しい観光の仕組みづくりを住民と一緒に考え実践していくこと。

そこから集客事業や物販事業などを新たな地域産業として根付かせ、雇用促進や生きがい創出など、地域の“しあわせ”を創る。

＜平成27年度事業＞

○平成29年度に初点灯から100年を迎える佐田岬灯台周辺の整備。地域団体と連携した記念事業の準備。

○宿泊機能を持たせた亀ヶ池温泉を軸としたヘルスツーリズム(温浴プログラム策定)事業等。

＜他団体との連携＞

○愛媛大学との連携協定

○県・県立中央病院との連携により薬草栽培、商品化



佐田岬観光まちづくり実行委員会総会の様子